

学会便り 第139回秋期大会報告

## 第29回「女性会員の会」報告

### The 29th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

関 史江<sup>1</sup>・大島 智子<sup>2</sup>

Fumie SEKI<sup>1</sup> and Tomoko OHSHIMA<sup>2</sup>

初のオンライン開催となった第139回秋期講演大会中、11月7日(土)12:20~13:10入退室自由の、第29回女性会員の会をオンラインで開催しました。参加者は合計20名(女性11名、男性9名)。初参加は2名で、軽金属学会では初めてポスター発表する院生(修)と企業の方でした。今回はオンライン開催なので、各自昼食と飲物を用意してPC前に集合しました。参加者はマイクをミュート、カメラはONにして、お互いの顔が見える状態で開催しました。

今回は託児室設置を中止しましたが、オンライン開催時の託児利用について意見が出たので、今後検討し提案したいと考えています。

#### [自己紹介：氏名・所属，ひとこと]

参加者には自己紹介と共に、「新型コロナ自粛中，〇〇してた!」をテーマにスピーチしていただきました。

大別すると、勤務状況，プライベート，健康維持方法の話が多かったように思います。

#### 勤務状況

職種・職務内容・家庭の事情などにより①ずっと在宅勤務・②在宅勤務時々出勤・③出勤時々在宅勤務・④ずっと出勤、のパターンに分かれました。「接触機会を8割減らす」との政府方針に従い、実験業務が多い若手研究者は出勤、管理職は在宅勤務などと、工夫の様子が明らかになりました。

ずっと出勤だった方の職場では、実験室などに分散して3密を防ぎながら業務にあたる、電車通勤を自動車通勤に変更する、といった対応をされたそうです。

また、4月に組織改編、転籍で職場が変わった方で、出勤3日目で在宅勤務に替わり、職場内ルールがわからないまま数か月経過、という例もありました。

自粛期間が年度初めだったこともあり、在宅勤務中に前年度の国プロ報告書を作成、論文を執筆・投稿などに時間をあてて、充実した時を過ごした方もいました。

#### プライベート

在宅勤務となった方々は、自宅で家族と24時間共に過ごすことで、いつもと異なる状況を楽しまれたようです。夜間に家族でマラソンをしたり、公園で遊んだりした方、お子さんの宿題に付き合った方、外出機会が減ったため各地の名産品(果物、菓子、野菜など)をお取り寄せで購入した方、育児スキルが上がった方などなど。ループブックキューブにハマり、1分以内にクリアするスキルを獲得した方もいました。

自粛期間中に第2子誕生で育児休暇を取った、との報告が男性会員からありました。第1子の入園式や運動会にも参加でき、良い思い出になったとのことでした。

#### 健康維持方法

自粛期間中の運動不足解消法が、多くの方から出ました。プールが閉鎖されウォーキングをはじめたが、物足りなくてランニングに切り替えた、ダンベルなどを購入し家族で筋トレをしている、夜間や休日にウォーキングをしている、自宅に設置した卓球台で卓球を楽しむ、研究室にダーツボードを設置し学生たちとダーツを楽しんでいる、などなど。



参加者の画面撮影 (2020/11/7)

13:10の中締め後に残った方々で健康維持方法について会話がはずみました。お勧め健康方法(ラジオ体操、速歩、振動マシン、トクホ飲料)を紹介し、話題に出たグッズをスマホで検索、PCカメラに映して情報共有する場面もありました。

次の第140回春期講演大会もオンラインで開催することが決定した、とのこと。次回の女性会員の会もオンラインで開催します。多くの方のご参加をお待ちします。

#### 第139回秋期講演大会中の関係行事

第11回女性未来賞受賞者・受賞講演 成田 麻未 先生

11月7日 9:00~9:20

第12回女性未来賞受賞者・受賞講演 芹澤 愛 先生

11月8日 9:00~9:20

第3回男女共同参画セッション

「最近の上司と部下のコミュニケーション」

11月7日 17:20~18:20

<sup>1</sup>元 東京大学(国立市)

<sup>2</sup>株式会社TYK(岐阜県多治見市)

受付日:2020年11月23日